

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

環境事業課 ☎ (31) 5304

環境事業所 ☎ (31) 7710

総合支所



家庭から出る食品ロスの内訳
(環境省資料より)

10月は「食品ロス削減月間」です

「食品ロス」とは、食べられるのに捨てられてしまう食品をいいます。

日本では年間約2759万トンの食品廃棄物が出されています。このうち食品ロスは643万トンで、その約半分の291万トンが家庭から排出されているといわれています。家庭からの食品ロスは、調理せずに捨ててしまう「直接廃棄」や、皮のむき過ぎなどによる「過剰除去」、調理物を捨てる「食べ残し」により発生します。買い物前に冷蔵庫にある食材を確認し買い過ぎない、野菜や果物の皮を必要以上にむかない、必要な分しか料理を作らないなど、ちょっとした配慮で食品ロスは削減できます。

食品ロスの削減は焼却ごみの減量にもつながります。皆様のご協力をお願いします。

ちょっと
聞いて!



10月は循環型社会形成推進月間

循環型社会を形成するためには、3 R (リデュース〈発生抑制〉、リユース〈再利用〉、リサイクル〈再生利用〉) に取り組むことが大切です。